

### 平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	姨捨の棚田 OASIS プロジェクト事業
事業主体 (連絡先)	名勝姨捨棚田倶楽部 (千曲市大字桜堂 268 番地 1 千曲市文化財センター内) 担当: 三ツ井 (090-1868-3238)
事業区分	(5) 環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ハード事業 (重点テーマ: 地域の強みを活かした移住・交流の促進)
総事業費	8,001,160 円 (うち支援金: 5,000,000 円)

#### 事業内容

国の名勝および重要文化的景観である「姨捨の棚田」で少子高齢化、人口流出等で耕作の担い手不足となっている現状を踏まえ、耕作により景観保全に取り組む団体が、付近の空き家を改修し活動拠点を整備した事業。

改修は、構造的部分や設備を建築業者に依頼し、倶楽部会員、長野県短期大学、農作業体験参加者、地域おこし協力隊、一般参加者などと共に屋根塗装や内装（壁塗り、補修等）のワークショップを進めた。事業の進捗状況、現状の課題に対する今後の展望についても、インターネットや各研修会、報道機関等の取材を通して発表し、収穫感謝祭、しめ縄づくり講習会、お披露目会等を開催し、地元耕作者や関係団体とも交流を行った。

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①②③改修整備した拠点において、今回初めて関係者が一堂に会し交流し、議論、賛同を得たことは、今後の発展的活動への貴重な足掛かりとなった。次年度以降においてもより多くのイベントが企画可能となり、様々な交流事業の開催や農作業体験を通して、耕作の担い手確保、移住促進の効果も期待できる。
- ④広報に対する反響も大きく、今後の活性化につながるようなアドバイスや、応援、趣旨賛同のメッセージなどをいただくことができ、事業の成果を感じることができた。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

拠点整備できたことで、次世代の担い手を中心とした今後の活動がより深く活発することが期待できる。次年度以降の計画として、引き続き建物補修や庭などの周辺整備をワークショップで進めながら、農作業体験と田舎暮らし体験をセットにしたツアーや、農作業体験型婚活イベント、民泊事業化への検討も進めていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた  
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

【改修作業の様子】



【目標・ねらい】

- ① 「姨捨の棚田」の景観維持
- ② 耕作団体の拠点整備・交流
- ③ 農業体験を含めた移住交流
- ④ 問題提起と解決に向けた交流

#### ※自己評価【B】

【理由】  
 長期にわたり、更なる成果を出すことが求められているため、次年度以降も交流活動を積極的に進める必要がある。